



農業保険実施能力向上プロジェクト ニュースレター

2022年8月

AYII 現地調査実施報告 -より良い保険商品設計をめざして-

2021年6月から始まった西ジャワ州カラワン県でのAYII（収量インデックス型農業保険）のパイロット事業について、この新しい保険商品が農家にどのように受け入れられているのか、聞き取り調査を行いました。保険に加入した農家46軒と担当の農業普及員13名への調査結果によ



↑ 現地調査実施の様子



↓ 報告会の様子

ると、AYIIに対する理解を深めるための説明会の開催が強く望まれており、特に損害査定の方法に関する理解を深めることが保険への加入につながるという回答が得られました。また、現在設定されている保



険金の支払額は低いとの回答が多く、多少掛け金が増えたとしても、保険金額が増えることを希望する声が聞かれました。今後保険商品の設計を再検討する際には、今回の調査結果を考慮し関係機関との話し合いを進める予定です。

中部ジャワ州でAYII開始

西ジャワ州カラワン県に続き、中部ジャワ州ケンダル県においてAYIIのパイロット事業が開始されています。農家への加入促進活動が各地で実施される中、6月8日にはケンダル県パゲルユン郡において説明会が開催されました。7月に損害評価を行うためのツボ刈り調査の手法を学ぶ研修が実施された後、実際のツボ刈り調査が開始されています。



AYII農家向け説明会の様子



AUTP-TOTフォローアップ調査報告会

2020年以降、南スラウェシ州と東ジャワ州で各3回行われたAUTP(実損補填型コメ農業保険)の指導者育成研修の成果と普及効果の確認のため、元研修員や関係者に対するフォローアップ調査を行い、7月19日に報告会を開催しました。調査によると、研修により農業普及員を中心とする研修員の損害評価や保険金の申請過程に対する理解が深まったことが確認された一方で、研修が保険加入者の増加につながったという直接的な効果は現段階では確認できないことが明らかとなりました。保険の普及に向けた課題としては、普及員の異動や農家の無関心、保険金申請のためのアプリが十分に普及していない点などが挙げられました。

今後は農業省による定期的な研修プログラムの実施に向けた検討を進めていきます。

